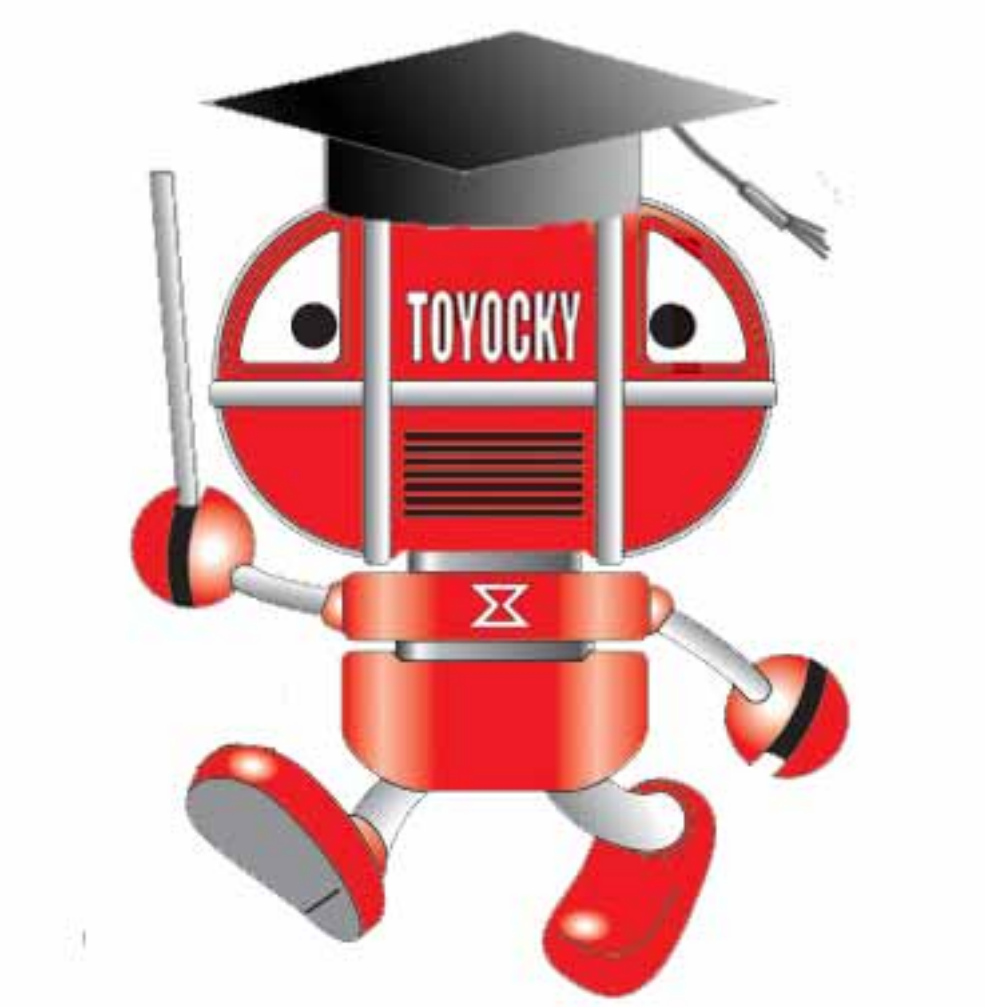
# 豊橋市市民協働推進補助金
## 平成22年度事業報告資料




豊　橋　市

# 目　　次


| 種類 | 名称 | 事業の名称 | 頁 |
|---|---|---|---|
| つつじ | 石巻山･紅の会 | 僕ひとり、まず一歩！<br>夢見る夢夫　紅葉の遊歩路を！ | 1 |
| | なかいわた絵手紙サークル | なかいわた<br>絵手紙サークル | 2 |
| | ストローおじさんの<br>親子ふれあい工作教室 | ストローおじさんの<br>親子ふれあい工作教室 | 3 |
| | 豊川流域圏を学ぶグループ | 表浜･三河湾･南愛知の<br>生物多様性を学ぶつどい | 4 |
| | ひだまりの会 | 子育て講座<br>グループワーク推進事業 | 5 |
| | なかの自然を守る会 | 柱大池の在来種の保護 | 6 |
| | ＮＰＯ法人 とよはし学童保育の会 | こまを通じた伝承遊び体験研修 | 7 |
| くすのき | 豊橋ジュニアアイスホッケークラブ | 豊橋カップ小学生アイスホッケー親善大会 | 8 |
| | 中部中学校区青少年健全育成会 | クリーンアップ作戦<br>（校区浄化活動） | 9 |
| | 非営利活動団体　虹のとびら | 表浜BlueWalk2010 特別講演会　　～海と川と山から学ぶライフスタイル～ | 10 |
| | 豊橋ユネスコ協会 | 戦争遺跡ってな～に<br>-豊橋公園の今とむかし- | 11 |
| | 豊橋市子ども会連絡協議会 | キッズ ジャム in とよはし | 12 |
| | マネーじゅく@豊橋 | 子どもはおかねが好きやねん！始動！お金に強いこども育成プロジェクト | 13 |
| | 特定非営利活動法人<br>ママゴンネット | 子育て支援を目的とする地域ＳＮＳの立ち上げ及び管理運営 | 14 |
| | 特定非営利活動法人<br>東海リスクマネジメント研究会 | 第6回 防災フェア | 15 |
| | 東三河動物福祉の会ハーツ | 『TNR運動〈Trap（捕獲）→Neuter（不妊去勢手術）→Return（戻す）〉』公園及び街角に住む野良猫の繁殖防止 | 16 |
| | 発達障害者地域自立支援の会グローアップ | 発達障害者地域生活支援事業 | 17 |
| ハード | 内山川ホタルを守る会 | 内山川ホタルの里づくり | 18 |
| | 賀茂校区文化協会 | 竹尾彦九郎翁の<br>石碑解説板の設置 | 19 |
| | やらまい会 | すすめ夢街道 | 20 |
| | 伊古部町笹百合保存会 | 「ササユリの里」<br>遊歩道階段整備事業 | 21 |
| | 三ノ輪二区壮健会 | 三ノ輪東公園の花壇づくり等　整備工事 | 22 |
| | 石巻ケマイマイ-きせる会 | 石巻山ろく総里山計画（ビオトープ整備事業） | 23 |

# 平成２２年度市民協働推進補助事業　事業報告会参考シート

| | |
|---|---|
| **事業名等** | 僕ひとり、まず一歩！夢見る夢夫紅葉の遊歩道を！ |
| **団体名** | 石巻山・紅の会 |

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 事業の概要<br>（取組みの内容） | 1.㈱水資源機構の土地と民有地の除草作業と雑木林の伐採作業(特定地域伐採許可申請)<br>2.除草後はモミジを植樹する。22 年度は公園緑地課の管理のモミジ 19 本(直径 15cm～5cm)を地元の森重造園土木㈱の協力で移植、潅水作業<br>3.潅水距離 280m用のホース巻取り機を廃品により自家作製。<br>4.三ツ口池周辺の道路側溝の清掃作業。<br>5.石巻校区自治会の「石巻山･三ツ口池クリーン作戦」の支援事業。 |
| 事業の成果等<br>（事業を実施した結果、どう変わったかなど） | 1.民有地は年間にわたり背丈ほどの雑草が除草された。<br>2.モミジの移植で㈱水資源機構の三ツ口池周辺の 19 本全てが新芽を吹いた。<br>3.㈱水資源機構により自発的に堰堤に 280mの転落防止の柵が設置された。<br>4.三ツ口池周辺の道路側溝、路肩の清掃作業で車両の通行が容易となった。<br>5.㈱水資源機構の土地内の一部雑木伐採で湖水面が透視可能となった。<br>6.会員が 4 名増加し、14 名となる。会員以外での協力申出がある。<br>7.三菱ﾚｲﾖﾝ㈱、ｱｲｾﾛ科学㈱など地元企業の苗木支援の申出がある。 |
| 今後の見通し<br>（事業実施後の課題、今後の取組みなど） | 1.２３年度の活動は２０００㎡の雑木林の伐採、整地後４０本のモミジの植樹を予定。<br>2.継続的活動で三ツ口池周遊のモミジ散策路を形成し、三ツ口池の湖水景観の創造を進める。<br>3.２２年度の植樹の潅水作業と除草で会員の労働負担が増すため、協力者の増員が必要となる。<br>4.２３年度は活動２年目であるが、市民協働推進補助金に頼らない活動へ向けて、広報活動を進める必要がある。 |

# 平成２２年度市民協働推進補助事業　事業報告会参考シート

| | |
|---|---|
| **事業名等** | なかいわた絵手紙サークル |
| **団体名** | なかいわた絵手紙サークル |

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 事業の概要<br>（取組みの内容） | 絵手紙作成をとおした「高齢者に生きがいと仲間づくり」を目指し、地元自治会等の協力を得て平成２１年７月に活動をスタート。<br>気まま、気楽に参加が信条で、受付はなく、プライバシー干渉厳禁、描き方自由、へたくそ大歓迎、原則無料である。年２回の発表会、年４回程度の質素なふれあい食事会と芸達者による余興など、とにかく楽しく、笑顔で仲間づくりができる場所づくりに力点を置いている。<br>なお、春秋の発表会や、校区文化祭、地元福祉施設、信用金庫や事業所等で出前作品展を開催するなど、常時作品展示を実施し、文化貢献している。さらに豊橋善意銀行と豊橋さなえ会主催の恵まれないお年寄りへの絵手紙による愛の年賀状、友愛訪問のボランティアのお手伝いをするなど、福祉貢献もしている。<br>また、孤独・疎遠防止策として、各自作成の絵手紙を子供（嫁）・孫に送付しようと啓発を続けている。定例会の参加者は、市広報、新聞掲載の効果により、増加を続け３０名を超える時もあり、１２月から時間を半日から全日に拡大するなどの対応を図っている。 |
| 事業の成果等<br>（事業を実施した結果、どう変わったかなど） | 事業の成果をまとめると次の７項目に要約される。<br>① 地元自治会、老人クラブ、民生委員等の地域組織や企業等の理解と応援・協力により活動している。<br>② 市広報、地元新聞社に掲載されたおかげで存在を広く周知できた。<br>③ 市から貴重な補助金の交付を受け、余裕と巾ができ、骨と皮だけの身体に血と肉が通い出し、関係者がこのサークルにかける使命感「高齢者に生きがいと仲間づくり」を新たにすることができた。<br>④ 参加者の仲間の輪と気のあった同士のグループができ、食事会、レクリェーション共にし、各自の家を訪問しあったり、絵手紙の通信をしあったりして、仲間づくりができている。<br>⑤ 楽しく雑談しながらの定例会、質素な食事会、大笑いできる仲間達の余興を通じて、孤独からの開放と外出促進させることに一翼を担うことができつつある。<br>⑥ 発表会だけでなく、出前出展、校区文化祭への参加、地元福祉施設やスポーツセンターへの展示など、地域への文化貢献ができた。<br>⑦ 豊橋善意銀行や豊橋さなえ会主催の恵まれない人々への愛の年賀状、友愛訪問の絵手紙作成と宛名書きに至るボランティア協力という福祉貢献ができた。 |
| 今後の見通し<br>（事業実施後の課題、今後の取組みなど） | 今後も東部老人会館を拠点として、絵手紙をとおして増加する高齢者、特に１人暮らしの孤独・孤立を防止する草の根運動の布石にしたいと考えており、楽しさと笑顔を大切にし、長続きできるよう地道に活動をしていきたい。もっと多くの人にこのサークルを知ってもらいたいし、男性の参加者が少ないので、対策を講じていきたい。<br>また、参加者が受身の姿勢であってはならず、積極的に社会参加促進を促すことも大事であり、絵手紙作成を通じて地域の文化振興および福祉貢献できるようにしていきたい。 |

# 平成２２年度市民協働推進補助事業　事業報告会参考シート

| | |
|---|---|
| **事業名等** | **ストローおじさんの親子ふれあい工作教室** |
| **団体名** | **ストローおじさんの親子ふれあい工作教室** |

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 事業の概要<br>（取組みの内容） | 最近親子断絶が社会問題になっている。親子がふれあう場と手伝いができればと思います。手近なもので親と子が物を作る楽しみ、また、家族が手作りの物を通じて話の輪と心の和を広げたい。 |
| 事業の成果等<br>（事業を実施した結果、どう変わったかなど） | 工作教室をはじめて子、親の目が優しく輝いている。また、作品を通じて話が弾み、あいさつができ、元気になってきた。 |
| 今後の見通し<br>（事業実施後の課題、今後の取組みなど） | 親から子へ、子からこの友人たちへと工作を通じて連帯感、責任感を持って成長することを願っています。 |

# 平成２２年度市民協働推進補助事業　事業報告会参考シート

| | |
|---|---|
| **事業名等** | 表浜・三河湾・南愛知の生物多様性を学ぶつどい |
| **団体名** | 豊川流域圏を学ぶグループ |

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 事業の概要<br>（取組みの内容） | 平成２２年１０月、愛知県で開催されましたＣＯＰ１０のスローガン「　生物多様性、それはいのち　　生物多様性、それは私たちの暮らし　」にのっとり、豊川河口部・前芝海岸の漂着ゴミ拾いをし、森川海のつながりと生物多様性（私たちの暮らし）を学びました。COP10 パートナーシップ事業としても行いました。 |
| 事業の成果等<br>（事業を実施した結果、どう変わったかなど） | 「ふれあい海岸美化活動」は、７月１７日（海の月間、河川愛護月間）に、延べ３５名の参加のもと、豊川河口部・前芝海岸での環境学習（干潟の観察など）、漂着ゴミ拾い、生物多様性を学ぶパネル展、前芝海岸と豊川写真展示、「奇跡の干潟」ビデオ鑑賞を行いました。漂着ゴミは、約１時間で、８４．５ｋｇを拾いました。<br>「お話し」・「ふれあい作品展」は、７月２４日に、延べ１３０名の参加のもとに、加藤新城市鳳来寺山自然科学博物館館長、耳塚三遠南信サポーターズ地域づくり活動家、波多野山と自然保護の研究家などから三遠南信の豊かな生物多様性を学び、環境ボランティア二人の東三河の生物多様性保全と継続的利用の体験を聞き、また中央構造線の石の彫刻、豊かな生態系からの恵みである木製、竹製の作品や園児の描く生物多様性を讃えるぬりえを鑑賞しました。<br>つどいを通じて、日本のエコロジカル･ネットワークの真ん中にあるこの地は昔から豊かな生態系の恵みを受けて暮らしてきましたが、生物多様性の減少もしていますので、森川海のつながりで、生物多様性を支える地域づくりを今以上に充実する認識を深めました。<br>ＣＯＰ１０開催時に、環境省から前芝地区における生物多様性に関わる伝統的知恵が「三河湾流域の伝統的知恵　多様な生き物の視点から」（パネルと冊子）により紹介されました。その中で、ふれあい海岸美化活動も掲載されました。<br>９月 23 日、豊川河口干潟での海岸漂着ゴミ拾い「あいち・なごやクリーンアクション for cop10」に参加しました。 |
| 今後の見通し<br>（事業実施後の課題、今後の取組みなど） | 海岸漂着ゴミ拾いへの参加<br>モニタリングへの参加<br>環境学習 |

# 平成２２年度市民協働推進補助事業　事業報告会参考シート

| | |
|---|---|
| **事業名等** | 子育て講座　グループワーク推進事業 |
| **団体名** | ひだまりの会 |

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 事業の概要<br>（取組みの内容） | テーマごとの家庭教育講演会。<br>講演会終了後に数人のグループワークを行い、子育ての悩みなどを話し合い、会員がアドバイスをしている。<br>また、父親への子育ての大切さを知ってもらう機会を設けようと、家族参加型レクリエーションを開催。 |
| 事業の成果等<br>（事業を実施した結果、どう変わったかなど） | 「講演会に参加して子育てに役立てている。大変よかった。」<br>「グループワークで悩みを聞いてもらい、すっきりした。」<br>「定期的に講師の話を聞きたい。」<br>と多数感想をいただき、改めて家庭教育の重要性を感じた。 |
| 今後の見通し<br>（事業実施後の課題、今後の取組みなど） | 毎回応募が多数なため、駐車スペースの広い会場へ変更、および講座回数を年４回から年１２回に増やすなどの対応をした。<br>今後も活動を継続し、お母さんが心にゆとりを持って子育てしていけるよう、支えていきたい。会を広く知っていただくために、広報にも力を入れていきたい。 |

# 平成２２年度市民協働推進補助事業　事業報告会参考シート

| | |
|---|---|
| **事業名等** | 柱大池の在来種の保護 |
| **団体名** | なかの自然を守る会 |

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 事業の概要<br>（取組みの内容） | 平成２２年８月２９日（日）に外来種の駆除を目的とて、東小浜町地内の柱大池の池干しを実施しました。講師にＮＰＯ法人東三河自然観察会理事の天野保幸さんを向かえ、捕獲した魚の解説をしていただきました。市役所農地整備課職員、中野おやじの会の皆さんも含め約１２０人に参加していただきました。 |
| 事業の成果等<br>（事業を実施した結果、どう変わったかなど） | 平成７年以来１５年ぶりの池干しで在来種として何がどのくらい生息しているかなど分からない事が多い多い池でしたが、今回の活動で、ブラックバスや雷魚といった外来種の影響を受けながらも、在来種であるフナ、ノゴイ、モツゴ、イシガメ、蓮を確認することができました。また、ゴミ拾いでは４ｔトラック２台分の家電を含むゴミが集まり、池の景観が向上するとともに在来種の存在を脅かすものが外来種だけでないことを参加者一同感じることができました。 |
| 今後の見通し<br>（事業実施後の課題、今後の取組みなど） | 本来の姿を取り戻した池を定期的に観察し、現状の維持を図っていきます。<br>また、会発足の源となった蓮もわずかながら現存を確認できましたので維持しながら観察を継続したいと思います。 |

# 平成２２年度市民協働推進補助事業　事業報告会参考シート

| | |
|---|---|
| **事業名等** | 菅原道彦先生に教わるベーゴマ　こま　遊びの楽しさ |
| **団体名** | 特定非営利活動法人とよはし学童保育の会 |

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 事業の概要<br>（取組みの内容） | こま遊びの中で、関東地方などではどこでも親しまれている“ベーゴマ”に親しんでもらおうと企画。<br>埼玉県で“遊びの学校”を主宰し、作新学院短大講師等を務めておられる菅原道彦先生を招いて、9 月 28 日午前中子ども未来館において開催。<br>「広報とよはし」等の広報も有り、目標 50 名に対して 60 名の参加者で盛会。「もう少し時間があれば・・・」との感想が幾つも聞かれた。<br>序盤は初めて豊橋市訪問なので、初対面の参加者同士の雰囲気を和らげる事も含めて、「手遊び」＝「ジャンケンゲーム」。<br>その後はベーゴマの基本的な遊び方の説明、実地講義へと進んだ。<br>ほぼ全体の参加者が“回せる”ようになった事を確認後、1 階ホールに移動、“樽床”（トコ）を相手に実践指導。 |
| 事業の成果等<br>（事業を実施した結果、どう変わったかなど） | 「広報とよはし」等の広報を含めても、どれ程の参加者が見込めるのか？不安でしたが豊川市からの３名を含め、「子どもの遊び」「子どもの健全育成・学童保育」関係者が８０％を占める参加となりました。<br>3/4 が女性でしたが、子どもの遊びの幅を広げたいとの熱意も有り、<br>熱心に“こまにひもを巻く”ことや、“樽床”（トコ）を相手にこまを投げ入れる練習をされていました。<br>又地域で、こまの愛好家の方も参加され、遊びの文化は様々な所に潜んでいることも参加者の皆さんに伝わることが出来ました。<br>今回の事業を機会に、多米や飯村等の学童クラブなどでは「クラブ内ベーゴマ対抗戦」が開かれるなど、参加者を中心に子どもに遊びを広げる取組みが見られます。<br>全国各地を回り遊び道具の再発見に努めている菅原先生からは、「豊橋で鉄ゴマを見るとはおもわなかった！」と、地域には色々な「宝物」が隠されていることも確認できたことは副産物でした。 |
| 今後の見通し<br>（事業実施後の課題、今後の取組みなど） | 「子どもの健全育成」に関わる関係者に対して「遊びの実技研修」を要望する声は以前から聞こえていました。県外研修に行くと、地元からの参加者を見る事が有ります。<br>遊びの目的は、「遊びそのものを楽しむ」と同時に、「遊びを通じて仲間を作る」ことにも有ります。<br>「子どもの健全育成」関係者を対象とした「事業研修」では、「座学研修」が定番です。その様な実状を少しでも改善するためにも引き続き「実技研修」を開催し、子どもの中に「遊びを通じて仲間を作る」働きかけが出来る社会人を増やしていきたいと思います。<br>そのためには、体制・補助金申請も含め取組みを強めて行く事を検討しています。 |

## 平成２２年度市民協働推進補助事業　事業報告会参考シート

| | |
|---|---|
| **事業名等** | 第１回豊橋カップ<br>小学生親善アイスホッケー大会 |
| **団体名** | 豊橋ジュニアアイスホッケークラブ |

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 事業の概要<br>（取組みの内容） | 日時：平成２２年５月１日から２日<br>会場：アクアリーナ豊橋<br>参加チーム<br>高学年の部：滋賀ジュニア（滋賀県大津市）長野ウイングス（長野県長野市）、やまびこバスターズ（長野県岡谷市）、浜松パイレーツ（静岡県浜松市）、豊橋ジュニア<br>低学年の部：滋賀ジュニア、やまびこバスターズ、豊橋ジュニア<br>各部ともにリーグ戦を行いました。 |
| 事業の成果等<br>（事業を実施した結果、どう変わったかなど） | 高学年の部：優勝長野ウイング、２位やまびこバスターズ、３位滋賀ジュニア<br>低学年の部：優勝やまびこバスターズ、２位豊橋ジュニア、３位滋賀ジュニア<br>優勝チームには豊橋市長杯のカップと賞状が授与されました。<br>２位のチームには豊橋市教育長から賞状が授与されました。<br>この大会によって、各チームとの交流ができ、１０月には滋賀県立アイスアリーナで行われた大会にも参加し、大阪、岡山のチームと試合を通して交流することができました。 |
| 今後の見通し<br>（事業実施後の課題、今後の取組みなど） | 次年度以降も引き続き、第２回、第３回と回を重ねて全国大会とし、更には海外チームも含めた大会としていく予定です。<br>第２回大会は、関東、東北、北海道、中四国のチームにも呼びかけを行っていきます。<br>課題としては、大会の参加チームが増えれば、開催日数が増えるので、宿泊といった父兄への負担も大きくなりますが、市内の宿泊施設等の協力を得ながら、子どもたちがきるだけ多くの仲間たちとの競技をできるようしていきたいと考えています。 |

# 平成２２年度市民協働推進補助事業　事業報告会参考シート

| | |
|---|---|
| **事業名等** | クリーンアップ作戦（校区浄化活動） |
| **団体名** | 中部中学校区青少年健全育成会 |

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 事業の概要<br>（取組みの内容） | 中部中学校区内の公共施設、公園、牟呂用水を中心に浄化活動を行った。<br>・　豊橋駅周辺の公共施設や商店に書かれた落書きを消した。<br>・　公共施設や公園のトイレを清掃し、使いやすく清潔にした。<br>・　公園内のゴミや落ち葉を拾い、遊びやすい環境を維持している。<br>・　牟呂用水とその周辺を清掃し、環境美化につとめた。 |
| 事業の成果等<br>（事業を実施した結果、どう変わったかなど） | 活動を始めた頃は、駅周辺に落書きがいっぱいあったが、最近ではずいぶん減ってきました。これは、市民の皆様の意識の変化のあらわれだと思います。<br>また、私たちの活動する姿が、道行く人々に伝わり市民に伝わっていることを感じました。 |
| 今後の見通し<br>（事業実施後の課題、今後の取組みなど） | この事業の成果は、少しずつではあるがあらわれていると思うが、依然として落書きやゴミ捨ては続いている。<br>これからもこの活動を地道に続け、この校区だけでなく他の校区や市全体に広まり、豊橋市の環境美化に貢献したい。 |

# 平成２２年度市民協働推進補助事業　事業報告会参考シート

| | |
|---|---|
| **事業名等** | 表浜 BlueWalk2010 特別講演会<br>～海と川と山から学ぶライフスタイル～ |
| **団体名** | 虹のとびら |

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 事業の概要<br>（取組みの内容） | 毎年表浜ブルーウォークと称して、表浜海岸（遠州灘）５０ｋｍを学生中心に清掃活動を行っている。その中でただゴミ問題というは一つの問題で、それをとりまく山や川と同時に考えていくことが必要であると考える。<br>そのなかで山と川と海、それぞれの専門家の意見からどのような活動が環境保全に繋がるかを考えた講演会を企画した。<br>この講演会を広く市民に対して行うことにより環境に関する意識の啓蒙活動を行いたい。 |
| 事業の成果等<br>（事業を実施した結果、どう変わったかなど） | 参加したのは学生を中心とする若い世代が３講演で１００人ほど集まった。それぞれの人たちは自分の生活が如何に自然と繋がっているか、そして環境を保全するにはどのようなことができるのか考えていた。<br>また具体的な身近なライフスタイルの改善から、環境を保全する方法を学んで、それぞれの生活に活かしていくことにした。 |
| 今後の見通し<br>（事業実施後の課題、今後の取組みなど） | 毎年行う海岸清掃活動であるが、ただ清掃に終始するのではなく、この活動が繋がって多方面からの環境保全を考える活動になるように、この講演会を活かしていきたい。 |

# 平成２２年度市民協働推進補助事業　事業報告会参考シート

| | |
|---|---|
| **事業名等** | 戦争遺跡ってな～に -豊橋公園の今とむかし- |
| **団体名** | 豊橋ユネスコ協会 |

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 事業の概要<br>（取組みの内容） | 豊橋公園の片隅に戦争遺跡が戦後 65 年間、負の遺産として打ち捨てられていました。ユネスコの理念である『戦争と平和』に関わる活動の一環として私どもがそれに光を当てて改めて戦争とはどのようなものか、次世代の人々に考えてもらうきっかけができればとの思いで『戦争遺跡ってなーに？』のマップリーフレットを作成しました。 |
| 事業の成果等<br>（事業を実施した結果、どう変わったかなど） | ①豊橋公園に残されている第 18 連隊等の戦争遺跡を検証し、マップリーフレットとしてまとめ、印刷発行しました。<br>②マップリーフレットを豊橋市内の全小学校 6 年生対象に教材資料として 6000 部配布した。そのほか、一般市民や団体からの要望に応じて配布した。<br>③飯村小学校の総合学習教育の一環として、リーフレットに基づく現地見学会の協力要請に応え、作成担当者が説明案内した。９月 24 日、飯村小学校６年生 130 名参加。<br>④マップ作成作業過程と活用について中日新聞（８月 17 日付）、朝日、読売、毎日、東愛知、東海日日の各紙、NHKＴＶ、Ｔｅｅｓ放送などで紹介され、本事業について大きな反響を得た。<br>⑤豊橋まつりなどの市内の行事で、展示、配布を行い、市民の関心を得た。<br>⑥11 月 6，７日、豊橋ユネスコ協会主催の中部西ブロック活動研究会で、マップリーフレット作成活動について報告し、各地区協会から高い評価を得た。 |
| 今後の見通し<br>（事業実施後の課題、今後の取組みなど） | ①豊橋公園への訪問者がリーフレットなどの案内がなくても、戦争遺跡の所在が分かるように『案内板』の設置を進めたい。<br>②市内の小学校の次６学年生にリーフレットを配布できるよう、増刷を考えたい。<br>③豊橋市内はじめ地域の戦争遺跡の調査、検証を継続して計画していきたい。 |

# 平成２２年度市民協働推進補助事業　事業報告会参考シート

| | |
|---|---|
| **事業名等** | キッズ ジャム in とよはし |
| **団体名** | 豊橋市子ども会連絡協議会 |

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 事業の概要<br>（取組みの内容） | 豊橋市の全ての子ども達の健全な成長を願い、今後の子ども会活動のより一層の活性化を目的に市制１００周年記念事業を期に、時代にあった子ども会活動のリニューアルを図る第一歩として始められました。<br>レクリエーションイベントを通し育成者、親子、地域とのコミュニケーションやふれあいをより強くするために行っています。<br>遊びを通し、対話や他校区の子ども達との交流も図り、人間関係を学びます。 |
| 事業の成果等<br>（事業を実施した結果、どう変わったかなど） | 子どもたちは事業への参加を通して、親子や友人同士、あるいは地域の人々とのコミュニケーションが図れ、また遊びを通して人への思いやりの心などを学ぶことができた。<br>企画段階から一部の企画に子どもたちを参画させることにより、事業運営の楽しさや難しさを学ばせ、彼らの自主性を伸ばし達成感や一体感を持たせることができた。その活動を見ていた他校区の役員は自分の校区でも取り入れたとその場で情報交換を行っていた。<br>老人クラブや消防団の協力で普段繋がりのない地域の人たちとのふれあいや繋がりができた。 |
| 今後の見通し<br>（事業実施後の課題、今後の取組みなど） | この事業の取組は、子ども会関係者や地域の人々にも少しずつ周知されてきましたので、今後は子ども会活動のスローガンでもある「子どもの手による子ども会活動」を実践するため、地域の人たちの協力をさらに得て各校区ごとでイベントの企画と運営を子どもたちに任せ、育成者はそれをサポートする形で今年度から実施していきたいと思います。 |

# 平成２２年度市民協働推進補助事業　事業報告会参考シート

| | |
|---|---|
| **事業名等** | 子どもはお金が好きやねん！<br>始動！お金に強い子ども育成プロジェクト |
| **団体名** | マネーじゅく@豊橋 |

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 事業の概要<br>（取組みの内容） | 【親子参加型ワークショップ】<br>◎　「こづかいゲーム」「キャッシュフローゲーム」「お金との付き合い方セミナー」<br>ゲームの中でさまざまな場面を通し、自分で考え、決断し選択することを体験する。終了後、ゲームの流れを振り返り、お金持ちとはどんな人なのか？お金の使い方や金銭感覚を育てるため、親は子どもにどう伝えていくのか？などについて、参加者全員で話し合い、様々な気づきを促す。<br>【保護者向け講座】<br>◎　「悪徳商法対策ゲーム」<br>現在問題となっている悪徳商法の内容と被害額、対処法などをゲームの中で体験する。終了後、ゲームの内容を振り返り、多様性を持つ現代の消費生活をいかに賢く乗り切るかを学ぶ。 |
| 事業の成果等<br>（事業を実施した結果、どう変わったかなど） | 【こづかいゲーム・キャッシュフローゲーム・お金との付き合い方セミナー】<br>○　延べ参加数子ども 60 人と大人数のワークショップとなったが、ほとんどの子どもたちから「とても面白かった」「またやりたい」等の感想や。「次はもっとお金を貯めたい」「一番でゴールしたい」「ゲームで自分の欲しいものを買えるようにしたい」など、自分なりの振り返りが出た。保護者の方からは、「子どもの金銭感覚が分かって、不安が解消された」「お金を使わせて学ばせることの大切さがわかった」等の声があった。<br>【悪徳商法対策ゲーム】<br>○　「今はカードを読む余裕があるけれど、実際目の前でまくしたてられるようにこれをやられたら、判断できるかどうか自信がない。」とコマを進めるごとに、参加者の色々な反応が見られた。<br>○　参加者からは「どんどん借金が増えていって、はらはらした。」「こんなにたくさんの種類の悪徳商法があるとわかって、非常に驚いた。」「自分だけは絶対大丈夫と思っていたが、今日参加して自己防衛だけでは不十分だとわかった。」などの感想が出された。<br>※ワークショップに参加した方が家庭生活の中でお金に向き合い、子どもの金銭教育や家庭の「お金」を守るための自衛策を考えるきっかけを提供できたと考えている。 |
| 今後の見通し<br>（事業実施後の課題、今後の取組みなど） | ○　どちらのワークショップも、今回、参加したいが日程的に合わなかったという声も多く、参加者を含め、次回開催を要望する声が多かったため、次年度の開催を検討したいと考えている。<br>○　子ども向けのゲームに関しては、「低学年には少しルールが難しかった」「ゲームの進み方があわただしかったので、もう少し、ゆっくりやりたかった」等のご指摘もいただいた。これについては、保護者の方によりご理解いただけるような説明の仕方やワークショップの進め方を次回までの検討課題とし、改善をしていきたいと思う。 |

# 平成２２年度市民協働推進補助事業　事業報告会参考シート

| | |
|---|---|
| **事業名等** | 子育て支援を目的とする地域 SNS の立ち上げ及び管理運営 |
| **団体名** | 特定非営利活動法人ママゴンネット |

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 事業の概要<br>（取組みの内容） | 子育て家庭が抱える様々な問題を少しでも軽減する目的で、子育て中の親同士が集えるインターターネット上のコミュニティサイトを立ち上げました。<br>東三河の子育て中の親が安心して活用できるよう招待制で、信頼できるソーシャルネットワークを構築します。<br>育児に関する悩みを共有したり、情報交換したり、友達作りや育児不安解消の手立てとなっています。 |
| 事業の成果等<br>（事業を実施した結果、どう変わったかなど） | 普段から疑問や不安に感じていることがあっても、こんなことを聞いたらどうかと思い、聞けずにいることでもインターネットを通じてだからこそ質問でき、結果一人で悩みを抱えることなく共感や知恵を得られることで、子育てに少しずつ自信が持てるようになります。<br>また、豊橋に引っ越してきたばかりで友達がいない・医者や遊び場など地域の情報がよくわからない、ということから利用される方も多く、孤立化防止の効果も得られます。 |
| 今後の見通し<br>（事業実施後の課題、今後の取組みなど） | サイトの周知と使いやすさの向上、利用者の増員、資金繰りが今後の課題です。<br>更にインターネット上での集いと同時に、実際に交流できる場の提供を視野に入れた取り組みが必要だと考えています。 |

## 平成２２年度市民協働推進補助事業　事業報告会参考シート

| | |
|---|---|
| **事業名等** | 第６回防災フェア |
| **団体名** | ＮＰＯ　東海リスクマネジメント研究会 |

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 事業の概要<br>（取組みの内容） | ◆　セミナー<br>２日にわたり６テーマのセミナー実施<br>◆　防災用品展示<br>２０社の展示<br>◆　防災に関する相談会<br>◆　体験「ＡＥＤ」 |
| 事業の成果等<br>（事業を実施した結果、どう変わったかなど） | ◆　セミナー<br>各テーマとも多くの参加者（４０～５０名）が聴講<br>◆　防災用品展示<br>新しい防災用品展示もあり、多くの情報提供が出来ました。<br>◆　相談会<br>ＢＣＰ取り組みについての相談等がありました。<br>◆　体験<br>ＡＥＤの体得をしている方が多数 |
| 今後の見通し<br>（事業実施後の課題、今後の取組みなど） | ◆　第７回防災フェアにむけて<br>３月１１日発生した、「東日本大震災」を教訓に、当地で予測されている、『東海・東南海・南海・・・・・』の対する啓蒙活動を推進する。 |

# 平成２２年度市民協働推進補助事業　事業報告会参考シート

| | |
|---|---|
| **事業名等** | **『TNR 運動〈Trap（捕獲）→Neuter（不妊去勢手術）→Return（戻す）〉』公園及び街角に住む野良猫の繁殖防止** |
| **団体名** | **東三河動物福祉の会ハーツ** |

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 事業の概要<br>（取組みの内容） | ホームレス猫の住む豊橋市内の主な後援のＴＮＲ活動は終わりに近づいています。本年度は街角あるいは路地裏で給餌されているホームレス猫（ストリートキャッツ）に注目しました。 |
| 事業の成果等<br>（事業を実施した結果、どう変わったかなど） | 多くても 7～８頭の群れが多く給餌している人の費用の協力もあり件数は少なかったが、十分な対応ができたと思います。今年は会員による負傷子猫の保護件数が多く、治療費が主な支出になってしまいました。 |
| 今後の見通し<br>（事業実施後の課題、今後の取組みなど） | 給餌している人の理解は得られましたが、周辺に住む市民の方々にチラシを渡し、捕獲器の設置等協力を依頼したところほとんどの方が、係わりたくない、巻き込まれたくないとのご意見でした。猫に無関心な方が多いと感じ、さらに啓蒙、啓発に努力が必要と思いました。自治会等にお力を借り、相談会、説明会等開催していきたいと思います。 |

# 平成２２年度市民協働推進補助事業　事業報告会参考シート

| | |
|---|---|
| **事業名等** | **発達障害者地域生活支援事業** |
| **団体名** | **発達障害者地域自立支援の会グローアップ** |

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 事業の概要<br>（取組みの内容） | 発達障害の理解と啓発活動<br>ピアカウンセリングの実施<br>発達障害者の地域自立生活のためのソーシャルスキルトレーニング等勉強会の実施 |
| 事業の成果等<br>（事業を実施した結果、どう変わったかなど） | 発達障害のある子どもさんを持つ親御さんの不安や心の安定をはかることができたと思う。発達障害についての正しい理解や支援の仕方など情報不足の人への提供ができたと思う。<br>発達障害者が苦手な将来への見通しを仲間とともに考えることで自分の事と感じ取ることができたのではないかと思う。 |
| 今後の見通し<br>（事業実施後の課題、今後の取組みなど） | 同じ悩みを共有できる仲間を必要とする人が多いと感じていますが、積極的にその場を求める人が少なく、アピールの仕方など、まだまだ検討が必要と感じています。<br>多くの人が集えるような場面を提供し、本人と含めた活動を広めていきたいと思っています。 |

# 平成２２年度市民協働推進補助事業　事業報告会参考シート

| | |
|---|---|
| **事業名等** | 内山川ホタルの里づくり |
| **団体名** | 内山川ホタルを守る会 |

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 事業の概要<br>（取組みの内容） | 内山川はホタルに配慮したホタルブロックという穴あきブロックで護岸を築いていますが、川が急峻なためにコンクリートの落差工というコンクリートの構造物が多くあります。そのコンクリートによって多くの生き物の移動に障害となっています。<br>そこで、森下橋下流にある愛知県と豊橋市の管理境界の落差工のコンクリート壁面に溶岩の付いたボードを張り付ける作業を行いました。<br>作 業 日：平成２２年６月６日（日）午前９時から午後４時まで<br>参加人員：会員４０名、農水省２名、ＮＰＯ法人グラウンドワーク東海６名、財)日本グラウンドワーク協会４名、豊橋市３名、東京都からの一般参加者１５人 |
| 事業の成果等<br>（事業を実施した結果、どう変わったかなど） | 溶岩は多孔質なため、小さな孔がたくさんあり、その孔にコケや小さな植物が生えてきます。既に、作業完了した場所ではコケや小さな植物が生え、ゲンジボタルも増えて、昨年はピーク時に約３，０００匹が舞いました。<br>また、コケが生えることで、二酸化炭素の吸収も行われ、コケは杉やヒノキの１０倍もの吸収することができるといわれています。<br>この作業によって地球温暖化防止にも役立っています。<br>今回の作業で、豊橋市の管理する区間に１３か所ある落差工のうち、６か所において溶岩ボードの張り付けが終わりました。 |
| 今後の見通し<br>（事業実施後の課題、今後の取組みなど） | 次年度以降、引き続き落差工や階段工のコンクリートの壁面に溶岩ボードの張り付け作業を行い、主要な落差工の溶岩ボード張りが終わったので、米山橋下流の階段工のコンクリート壁面にボード張り、その後は朝倉川との間にある田んぼの排水路に、溶岩ボードの張り付けを行っていく予定です。<br><br>内山川の活動が各地域に広がり、地域住民による環境改善活動が活発になるように情報の発信を行っていきます。 |

# 平成２２年度市民協働推進補助事業　事業報告会参考シート

| | |
|---|---|
| **事業名等** | 「竹尾彦九郎翁の石碑解説板」の設置 |
| **団体名** | 賀茂校区文化協会 |

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 事業の概要<br>（取組みの内容） | 賀茂校区文化協会では、町おこしの一環として、「先人遺産を掘り起こし」、町の活性化の一助になればと活動しています。今回のテーマは、「賀茂用水（現牟呂用水）」の構築の指導者「竹尾彦九郎」を取り上げました。文化協会役員会で立案し、自治会や関係する各種団体・賀茂小学校の協力で「竹尾彦九郎翁の石碑解説板」の設置に取り組みました。<br>また、豊橋市美術博物館から適切なご指導をいただき感謝しています。 |
| 事業の成果等<br>（事業を実施した結果、どう変わったかなど） | ・ 自治会や各種団体（特に賀茂葵会）の協力が得られました。<br>・ 賀茂小学校の先生方が、竹尾彦九郎の偉大な業績―「報徳社」を設立し、地域の産業（農業）の近代化に尽力し、飢饉に際しては賀茂用水（現牟呂用水）の建設で地域住民の生活を守り抜き、地域発展に貢献した―を子どもたちに教えてくださいました。<br>・ 町の片隅に建てられた「竹尾彦九郎の石碑」の精神が蘇り、語り継がれています。例えば、高齢者の方々が明治時代を「世のため人のため」生き抜いた竹尾彦九郎の精神の再興を喜び、学校で学んだ子どもたちが、家庭で問いかける場面が見られるようになってきました。 |
| 今後の見通し<br>（事業実施後の課題、今後の取組みなど） | ① 校区内<br>・竹尾彦九郎の人となりや救世救民の精神を後世に伝承。<br>校区機関紙「賀茂文化」等による広報活動<br>校区行事として「竹尾彦九郎〇〇〇会」設立の促進や講演会の開催など<br><br>② 関係地域との交流を模索<br>・賀茂用水関係地域[新城市八名井・豊川市金沢町・賀茂]<br>・牟呂用水流域[豊川市三上～豊橋市内～三河湾（牟呂）] |

# 平成２２年度市民協働推進補助事業　事業報告会参考シート

| | |
|---|---|
| **事業名等** | すすめ夢街道 |
| **団体名** | やらまい会 |

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 事業の概要<br>（取組みの内容） | 私たちの住む市道沿線の竹林は変化に富んでいる。前年度に薄暗い杉木立を整理し、桜を植えた。しかし、沿道の竹林では、竹が密集し道路に覆いかぶさってきたため<br>①幅２ｍに渡って竹や雑木を伐採、撤去する<br>②道路の境に自然木の柵を設置する。<br>③そこに、つわぶきとアジサイを植える。<br>ことにより、道路の安全の確保と里山の良さを生かした沿道の美化活動に取り組むこととした。 |
| 事業の成果等<br>（事業を実施した結果、どう変わったかなど） | 事業計画に基づき竹や雑木の伐採と撤去及び自然木の柵を設置し、つわぶき、アジサイを植えた。前年度の桜に引き続き美しい景観が加わった。<br>また地域の１つ事業所の人達がボランティアとして協力をしてくれ大いに意気があがったことと、ゴミのポイ捨てが減ってきていることは大きな励みである。<br>会員の私たちも会とは別に自主的に沿道に草花や花木を植えるなどして、行動に広がりを見せ始めている。 |
| 今後の見通し<br>（事業実施後の課題、今後の取組みなど） | 毎月第３土曜日をゴミ拾い、清掃、草取りの日としている。ゴミのポイ捨てもだいぶ少なくなっているので、この活動を続けていきたい。<br>またこの地域の沿道には、四季おりおりの花が咲いている。お互いにその美しさを話題にしながら、私たちの活動が地域の人々と結びついていくことを願っている。 |

# 平成２２年度市民協働推進補助事業　事業報告会参考シート

| | |
|---|---|
| **事業名等** | 「ささゆりの里」遊歩道階段整備事業 |
| **団体名** | 伊古部町笹百合保存会 |

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 事業の概要<br>（取組みの内容） | 「ササユリ」は昭和４０年頃までは、遠州灘に面した私たちの町、伊古部町に限らず、海岸林や内陸部の里山に沢山自生していました。<br>　平成５年絶滅したと思われていたササユリが突然見つかりました、是非、ササユリの咲く里を復活したいと有志を集め、「伊古部町笹百合保存会」を発足させ平成１４年頃から、昔、自生していた海岸近くの山に球根を移し、年年面積、本数を増やし、平成１７年には「ささゆりの里」と命名し公開にふみきりました。<br>　平成２１年度の「くすのき補助金」の採択を得て、市内外から観賞に来られる方が急増し、４０００人を越えるまでになりました。<br>　しかし、この里は遠州灘沿いの自然林で、ササユリの開花期は梅雨どきでもあり来園者に安心して楽しんでもらう園路の整備が必要でありました。<br>　ハード補助金の採択を頂き、保安林、三河湾国定公園の指定のなかで、許される範囲の安全な階段、園路の整備を図りました。<br>　工事内容は、約５００m の遊歩道の特に急峻な所４５m 区間にコンクリート板とスチール杭で約６０段の階段を造りました、総工費は６３万円、（内補助金５５万４千円でした。） |
| 事業の成果等<br>（事業を実施した結果、どう変わったかなど） | 　来園者は高齢の方も多く、保存会メンバーは安全への気使いからかなり解放され、来園者等とのコミュニケーションを図る雰囲気が生まれた。<br>　又、リピーターも多く、様々な意見、提案も気軽に寄せられるようになり、ささゆりの里の発展の力となると思われる。 |
| 今後の見通し<br>（事業実施後の課題、今後の取組みなど） | １．　「ささゆりの里」を訪ねてくれる方も、もっと多くなると思われる、制約の多い場所ではあるが、皆さんがもっとゆっくり出来る場所作りが必要。<br><br>２．　「ささゆりの里」のエリアの拡大。（少年自然の家・自転車道沿<br>更には、伊古部以外にもササユリの群生地が出来れば、ササユリは高豊の象徴にもなる力を持っていると思われる。<br><br>３．　この事業を継続、拡大していくには、ユリ園を管理していく作業の中に、地元小・中学校だけでなく、広く、ボランティアに参加してもらうことも考えていけたらと思う。 |

## 平成２２年度市民協働推進補助事業　事業報告会参考シート

| | |
|---|---|
| **事業名等** | 三ノ輪東公園の花壇づくり等整備工事 |
| **団体名** | 三ノ輪二区壮健会 |

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 事業の概要<br>（取組みの内容） | 平成２１年度に市民協働推進補助金の交付を受け、三ノ輪東公園周囲の花壇づくりとフェンスの修復工事を行ったが、今年度も補助金を受けて、未完成の部分の花壇工事と地域全体に啓蒙できる告知、教育を目的とする掲示板・看板を設置した。 |
| 事業の成果等<br>（事業を実施した結果、どう変わったかなど） | ◆ ９３０（草ゼロ）５３０（ゴミゼロ）のきれいな公園となりました。<br>◆ 花壇には１,０００株の花が植えられ美しい公園になりました。<br>◆ 子供たちが元気に楽しく遊べる公園となりました。<br>◆ フェンスの乗り越えや飛び出しもなくなり、安全な公園となりました。<br>◆ 公園のメンテナンスを通し会員相互の和が広がってきました。 |
| 今後の見通し<br>（事業実施後の課題、今後の取組みなど） | ◎ 三世代が楽しく交流できる公園を目指す。<br>◎ 当たり前のことが当たり前にできる次世代が育つような公園を目指す。<br>◎ 町自治会とコラボレーションすることで地域が明るく元気になることを目指す。<br>◎ 会員のボランティア活動と生きがいづくりを両輪として、明るく元気な高齢者仲間づくりを目指す。 |

# 平成２２年度市民協働推進補助事業　事業報告会参考シート

| | |
|---|---|
| **事業名等** | 石巻山ろく総里山計画（ビオトープ整備事業） |
| **団体名** | 石巻ケマイマイーきせる会 |

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 事業の概要<br>（取組みの内容） | ○ビオトープ池：冬でも水辺環境が維持できるように、また湿田の水はけをよくするため、ビオトープ池の近くの畑の一角を掘り、湧水を水路へ導水しました。（冬でも一定の水を確保できました）<br>　また、田んぼの約 50 ㎡を木杭と雍壁で囲い、底を掘って低くし、水路と水が交換できる湛水機能を持たせました。<br>○ビオトープ水路：水生動植物が生育できるように、土地改良区の水路約 80mの底敷きに 10cm 石材を敷きました。 |
| 事業の成果等<br>（事業を実施した結果、どう変わったかなど） | 　事業施工以前の水路には、10ｃｍ当たり数個ほどのカワニナしか確認できなかったが、施工後は 100 個ほどを確認します。特に小さな個体が無数に確認し、ここで成育していることが分かります。他には、沢ガニ、トノサマガエルなどが確認できます。<br>　ビオトープ池には、現在のところ他の動物の確認はしていません。カワニナの生息数が激増したことにより、来年度にはホタルの生息数が飛躍的に増えることを期待しています。 |
| 今後の見通し<br>（事業実施後の課題、今後の取組みなど） | 　池には、近隣に植えていたクレソン、しょうぶなどを植栽しましたが、魚などの動物は入れていません。下流の三輪川とは段差があり、魚は遡上できないと思われます。<br>　動植物については、このまま自然（生態系）にまかせるのか、移植して公園的に整備とするのか議論の分かれるところです。<br>　動植物の生息を踏まえ、地域の児童や住民へのレクチャーを行い、水辺、憩いの場として認知されるようにしていきます。<br>　また、隣接する山林では、引き続き間伐などの里山整備をして、山に入る楽しみを提供するとともに、イノシシなどと人の生活圏の分離を図るなど、住環境を含めた石巻町全体を里山にすることを最終目標としています。<br>  <br>ケータイURL<br>※今後の予定は石巻町ＨＰで http://ishimaki.web.fc2.com/ |

# ええじゃないか豊橋



豊橋市　文化市民部　市民協働推進課
〒４４０－８５０１
豊橋市今橋町１番地(西館４階)
TEL：０５３２－５１－２４８３
FAX：０５３２－５６－５１２８
MAIL：shiminkyodo@city.toyohashi.lg.jp